

経営比較分析表

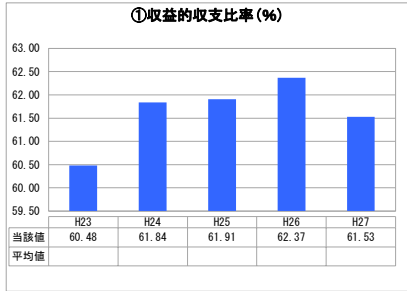
岡山県 真庭市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	小規模集合排水処理	I2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.08	100.00	3,110

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
47,820	828.53	57.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
40	0.02	2,000.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



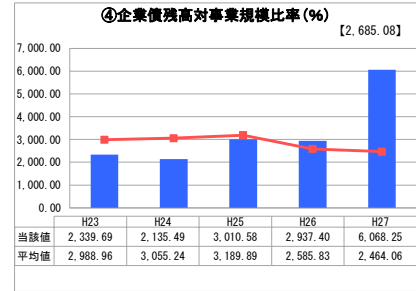
「単年度の収支」



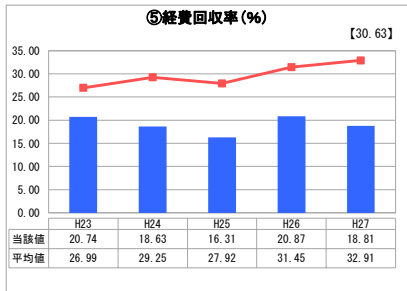
「累積欠損」



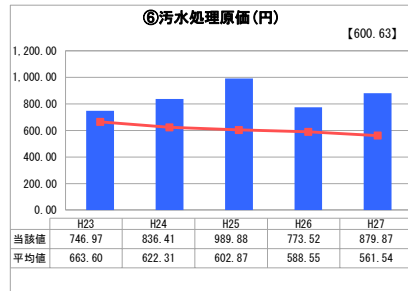
「支払能力」



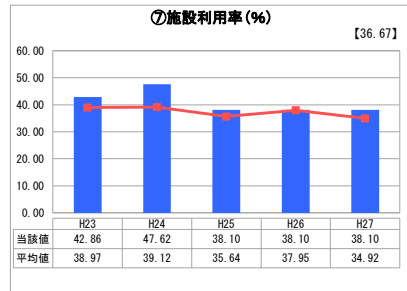
「債務残高」



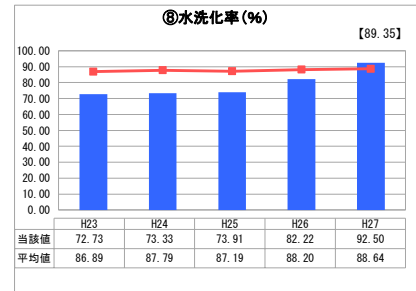
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

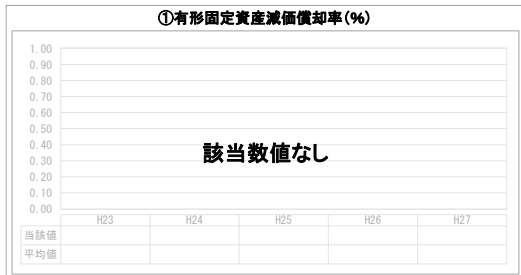


「施設の効率性」

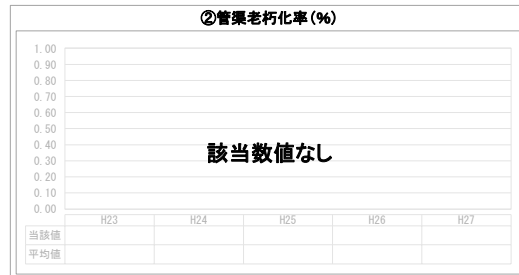


「使用料対象の捕捉」

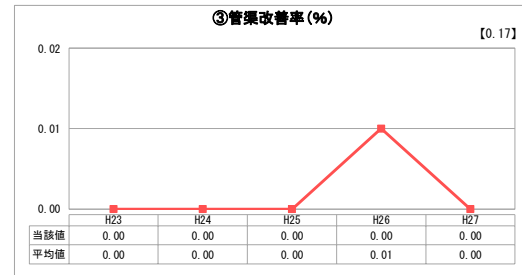
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
 毎年度若干ながら向上していたが、H27年度はやや減少し61.53%となっている。今後、区域内人口の減少が進めば、すでに整備が完了し地方債償還額が一定のため比率が悪化することが予測される。

④企業債残高対事業規模比率
 H27年度で6,068.25%となっており、類似団体と比べ3,604.19%高くなっている。区域内の整備は完了しているため、地方債残高は今後減少する。

⑤経費回収率
 H27年度で18.81%となっており、類似団体と比べ14.1%低くなっている。維持管理には一定の費用がかかるため、人口減で使用料収入が減少すれば数値が悪化する可能性がある。

⑥汚水処理原価
 H27年度で879.87円となっており、類似団体と比べ318.33円高くなっている。有収水量に対し維持管理費用が高いことが原因のため、有収水量が減少すれば更に数値が悪化する可能性がある。

⑦施設利用率
 H27年度で38.1%となっており、類似団体平均値とほぼ同等である。

⑧水洗化率
 H27年度で92.5%となっており、類似団体と比べ3.86%高くなっている。区域内人口が少なく数件の高齢者世帯のみ未接続で残っている状況であり、これ以上の数値の向上は困難と思われる。

2. 老朽化の状況について

供用開始から10年以上経過しており、今後は耐用年数に近づくため、定期的な点検や部品交換等設備の延命化と処理機能確保するとともに費用の縮減を図る。

全体総括

当市の小規模集合排水処理事業は、すでに整備を終えた小規模施設の維持管理であるため、汚水処理原価が高く経費回収率が低い現状は引き続き続くことが予想される。新規加入が見込める状況でないため料金収入の確実な徴収を図る一方で、維持管理費を抑制し現状の経営を維持していく必要がある。

またH29年度より、会計制度を現在の特別会計から公営企業会計に移行することとしており、移行後は、経営状況をより明確化した上で歳入歳出の適正化を図り、経営戦略を立て経営基盤強化を進めることが不可欠である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。